

地域づくりの  
新しい波

間瀬・田ノ浦温泉

# 「温度が低くたって」 温泉だぞ！

## 地域活性化の夢をのせ

温度が低くたって温泉だぞと、  
意気軒昂な「間瀬・田ノ浦温泉」  
地域づくりの新しい波として、昨年  
九月、温泉掘削事業がスタート。十  
二月までに予定計画深度の七百以  
ま掘った結果、水温二十二・三度、  
湯量毎分五十二リットルがわき出しました。  
湯温、湯量ともちょっと物足りない  
気も正直ですが、成分的にはナト  
リウム塩化物泉（低張性アルカリ性  
冷鉱泉）というりっぱな温泉。七月  
二十七日の県温泉審議会で動力装置  
（ポンプや配管など）の設置許可が  
出て、いよいよ本格的な温泉開発が  
始まりました。地域活性化の夢をの  
せ開発した「田ノ浦温泉」をご紹介  
しましょう。

## 潜在的観光資源開発

ちょうど一年前の昨年九月、県営有  
料道路・越後七浦シーサイドラインの  
田ノ浦料金所脇の空き地で温泉掘削を  
試みた、「田ノ浦温泉掘削整備事業」も  
スタートして一年が過ぎ、その後どう  
なったのかな？とみなさんも気になっ  
ていたのではないのでしょうか。  
リード文でもご紹介したように、動  
力装置（温泉くみ上げ用のポンプや配  
管など）の設置許可により、いよいよ  
村内第二の温泉——田ノ浦温泉が誕生  
し、地域開発の夢をのせ、本格的に始  
動しました。

田ノ浦地区はご存じのように背後に  
多宝山・弥彦山を、目の前には佐渡が  
島をのぞみ、周辺は名勝白岩、崖松が  
日を見張るような美しさを展開する越  
後七浦海岸屈指の海水浴場として人気  
の高いところですが、残念なことに超  
満員のにぎわいも短い夏の季節だけ  
終わってしまう感がありました。

そこで、田ノ浦地区にある三軒の旅  
館では、「年間を通じて客を呼べるリ  
ゾート地的地区にしたい」とアイデア  
をしばっていたところ、「近くに巻町  
の湯の暖、岩室、弥彦村の観音寺など  
温度は低くても温泉が出ている。田ノ  
浦も昔から宝川付近に湯脈があった。  
」と、温泉プラス海水浴場への夢が  
膨らみ、村に地域活性化のエースとし  
て温泉開発を要請。村でも、民間活力  
導入型の地域開発という時代にマッチ

した新しい地域づくりが期待できる  
ということから、共同出資（経費を四分  
の一ずつ負担）で昨年の九月から十二  
月にかけて田ノ浦温泉の試掘をしまし  
た。計画深度の七百以まで掘った結果  
水温二十二・三度とやや低いものの毎  
分五十二リットルが噴き出し、加熱すれ  
ば十分な温泉になります。

温度的には温泉と認定されるのに少  
し足りなかった（温泉は二十五度以上）  
ものの、成分的には文句なく、県の温  
泉分析の結果、ナトリウム塩化物泉（  
低張性アルカリ性冷鉱泉）と診断され  
ました。舌で味わうと塩水のように少  
し塩辛い味がします。

これをうけ、今年五月二十二日、県  
へ動力装置（温泉をくみ上げるポンプ  
や各旅館へ温泉を送る配管など）の設  
置許可申請をしました。そして、七月

二十七日に開かれた県温泉審議会で正  
式に許可され、八月二十日からいよ  
よ配管工事がスタートして、本格的な  
温泉誕生となりました。

ところで、気になる田ノ浦温泉の効  
能は、リュウマチ、皮膚病、婦人病な  
どに特に効果があるといわれ、婦人層  
を中心に人気が出るのではないかと期  
待されますね。

## 広がる温泉活用法

この温泉開発と併せて、田ノ浦地区  
の旅館では、「温泉が出て満足な宿  
泊施設がなくては、客に見離されるこ  
とになる」と増改築工事に入ったこ  
ろもあり、すでに七月二十一日には、  
鉄骨一部三階建て、十二室で九十四人を  
収容できるホテルもオープンしました。  
「温泉がそれこそ、噴水のように噴  
き出したのではないので、期待はずれ  
？の部分も正直ありますが、たとえ毎

分五十二リットル程度でも、立派な温泉に  
違いなく、海を見ながら温泉につかり  
美しい自然を十分満喫してほしいです  
ね。おまけに新鮮な海の幸、山の幸の  
自慢料理に舌鼓を打っていただければ  
最高ですね」とシーサイドたかの高  
野さん。  
越後七浦シーサイドラインのど真ん  
中にあり、日本海と直接ふれあえる田  
ノ浦温泉。民間誘導型の新しい地域開  
発の波として、ますます大きなビジョ  
ンが広がります。  
村でも新温泉誕生に併せ、温泉の利  
用計画として温水シャワーの設置や公  
園、露天ぶろなど（試案）の新設も計  
画段階にあります。  
施設が整う来年の夏には、海水浴プ  
ラス温泉といった自然派に人気が出そ  
うですね。また、潜在的観光資源であ  
る海洋ゾーンを活用した、海と直接ふ  
れあえるリゾート地化への夢も膨らみ  
ますね！



温泉プラス海洋ゾーンの開発で夢膨らむ間瀬・田ノ浦地区



温泉の汲み上げ用ポンプなどの設置準備に忙しい掘削地付近。

## 田ノ浦温泉 —始末記—

- 60年5月10日…田ノ浦地区開発に伴う水源調査報告が田ノ浦開発協議会から村へ提出
- 60年6月19日…田ノ浦開発協議会が温泉試掘を村に依頼
- 60年9月19日…温泉試掘地決定
- 60年11月30日…県温泉審議会へ掘削許可申請
- 61年2月10日…温泉掘削許可
- 61年8月28日…日さくと工事契約—深度500mを計画
- 61年11月25日…深度600mに変更
- 61年12月11日…深度700mに変更
- 62年1月10日…掘削工事終了
- 62年2月4日…温泉分析を依頼
- 62年3月4日…温泉分析の結果、泉質は、ナトリウム塩化物泉
- 62年5月22日…県へ動力装置の設置許可申請
- 62年7月27日…動力装置の設置許可
- 62年8月20日…動力装置工事着手